

「場・人・ものマトリックス」の見方

「場・人・ものマトリックス」の見方を説明します。

生活場面のカテゴリー

キャリア発達段階を基に、「職業」「経済」「余暇」「地域」「家庭」の五つに分類しています。

見出し

生活場面のカテゴリーごとに、時期的な特徴などを見出しにしています。

宮城県総合教育研究グループ
高等部(高等学校) 知的障害のある児童生徒のための

「場・人・ものマトリックス」は、知的障害のある児童生徒の生活において、共通する「場・人・もの」を整理し、キャリア発達段階を考慮して例示しています。児童生徒の実態、学校や地域の状況を取り入れる場合もあります。キャリア発達段階と「場・人・もの」を照らし合わせ、学習活動の場を見出しましょう。

生活の場

積み重ねや広がりやキャリア発達段階と組み合わせ、児童生徒の実態、学校や地域の実情で取り入れられないものや、児童生徒の生活を捉え、学部(学校)に応じた学習活動の場を見出しましょう。

学部	小学部(小学校)	中学部(中学校)	高等部(高等学園)
キャリア発達段階	職業及び生活に関わる基礎的な能力獲得の時期	職業及び生活に関わる基礎的な能力を土台にしながら、それらを統合して働くことに応用する能力獲得の時期	職業及び卒業後の家庭生活に必要な能力を実際に働く生活を想定して具体的に適用するための能力獲得の時期
職業	手伝いや役割、仕事について知るために関わる場	作業や進路に関わる場	職場実習、就労に関わる場
経済	買い物に関わる場	消費生活に関わる場	経済生活に関わる場
余暇	遊びに関わる場	興味・関心や適性に応じて関わる場	余暇を有効に過ごすために関わる場
地域	身近な地域で関わる場	地域参加や安全で関わる場	よりよい地域生活、福祉に関わる場
家庭	家庭生活を営む上で関わる場		

【参考】「知的障害のある児童生徒の『キャリアプランニング』マトリックス(試案)」 国立特別支援教育総合研究所

「場・人・もの」の具体的な事物

具体的な事物は、学部(キャリア発達段階)を考慮して例示しています。児童生徒の実態、学校や地域の状況で取り入れられないものや、他学部(学校)の事物を取り入れる場合もあります。キャリア発達段階を念頭に置きながら調整することが大切です。

特別支援学校学習指導要領解説各教科等編(小・中・高)の各教科の目標及び内容は、生活年齢を基盤として段階が構成されています。こうした段階も踏まえて、見出しや具体的な事物の配置を考えました。

「場・人・ものマトリックス」は、「場・人・もの」の積み重ねや広がり一例です。各学校で、地域や学校の実情に合わせてアレンジし、ご活用ください。

